



# 第16回京都学生祭典 報告パンフレット

---

## Index



- 02 京都学生祭典とは
- 03 ご挨拶
- 05 地域交流活動
- 06 年間イベント
- 07 京炎 そでふれ！
- 09 年間活動
- 11 1ヵ月前フェスティバル
- 13 京都学生祭典 本祭
  - 15 Opening
  - 16 おもてなし企画
  - 17 京都子ども企画
  - 19 京炎 そでふれ！全国おどりコンテスト
  - 21 京都学生コレクション
  - 22 Kyoto Student Music Award
  - 23 京炎みこし
  - 24 企業連携企画・芸大生との連携
  - 25 Grand Finale
- 27 実行委員インタビュー
- 29 メディア掲載一覧
- 30 京都学生祭典本祭アンケート結果
- 31 制作物一覧
  - 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 加盟校一覧
- 32 協賛企業一覧・個人サポーター
- 33 実行委員名簿
  - 所属大学一覧

きょうを繋ぐ

## 京都学生祭典とは

京都学生祭典は産・学・公・地域が連携し、ALL京都で取り組む、学生プロデュースのお祭りです。毎年、平安神宮前・岡崎プロムナード一帯にて10月に開催し、延べ10万人以上のお客様にご来場いただいております。大人気企画「京炎 そでふれ！全国おどりコンテスト」や学生の音楽コンテスト「Kyoto Student MusicAward」などの様々な企画で、学生のパワーを感じ取っていただけるこのお祭りは多くの方に好評いただいております。今年で16年目を迎える京都学生祭典は「きょうを繋ぐ」をテーマに掲げ、京都中を繋ぐ存在となり、京都のより良い未来に繋がる活動をしよという意味を込め、1年間活動を行ってまいりました。これまでご縁のあった地域や人との繋がりを大切にしつつ、今まで「京都学生祭典を知らなかった」という人たちにも私たちの存在を知っていただくこと、「1ヵ月前フェスティバル」をはじめとした様々な取り組みを実施してきました。第16回の京都学生祭典の歩みは、20回、30回と続く京都学生祭典の未来に繋がっていきます。



# ご挨拶



第16回京都学生祭典 組織委員会

## 委員長 吉田 美喜夫

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 理事長

平成最後の開催となった第16回京都学生祭典は「きょうを繋ぐ」をテーマに掲げ、1年間をかけて創り上げてきました。本祭の直前まで台風が心配されましたが、当日は秋晴れのもと15万4千人もの皆様にご来場をいただき、大盛況のうちに終えることができました。この日のために溢れんばかりの情熱を注いでこられた実行委員をはじめとする学生の皆さんに敬意を表するとともに、ご来場いただきました皆様および関係者各位に深く御礼申し上げます。

京都学生祭典は今後も「大学のまち・学生のまち京都」のさらなる活性化に貢献し、京都に集う学生一人ひとりの成長に資する場となりますよう、さらなる飛躍をめざしてまいります。今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



第16回京都学生祭典 企画検討委員会

## 委員長 木村 光博

心配された台風も過ぎ去り、素晴らしい秋晴れの中、第16回の学生祭典が盛大に開催されました。京都の学生達が京都経済同友会や大学コンソーシアム、地域、行政の皆様のお力添え頂きながら、今日まで繋いできたこの京都学生祭典は、私達京都に住まう者にとって素晴らしい交流の場としても育ってきました。御来場、また御支援を頂いたすべての皆様に御礼を申し上げると同時に、学生達の目指す「京の四大祭り」となる日を夢み、御礼のご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。



## 実行委員長 稲垣 知沙

立命館大学 3回生

第16回目を迎えた今年は、「きょうを繋ぐ」をテーマに掲げ、京都中の繋がりを大切にしながら1年間活動を行ってまいりました。第16回京都学生祭典本祭では、昨年を超える、15万4千人ものお客様にお越しいただきました。無事成功を納めることができましたのも、産・学・公・地域の皆様のご協力、学生たちの熱い情熱があったからこそだと思います。京都学生祭典に関わってくださった皆様に、心より感謝申し上げます。これからの京都学生祭典に、ご期待ください。



## 副実行委員長 奥山 佳吾

同志社大学 3回生

この度、10月7日を終えまして、無事に第16回京都学生祭典本祭に幕を下ろすことができました。今年度は「きょうを繋ぐ」をテーマとし、1年間に及ぶ活動の中で様々なものを京都学生祭典へと繋いで行きました。その中で9月1日に開催しました1ヵ月前フェスティバルでは、多くの人に京都学生祭典を知っていただく機会となり、本祭へ動員を繋ぐ事が出来たのではないかと思います。これまでご協力して下さいました皆様には、心より御礼申し上げます。これからも京都学生祭典を宜しく願い致します。



## 副実行委員長 深町 奈月子

京都女子大学 3回生

台風の影響を心配していたのが嘘のような秋晴れに恵まれ、無事本祭を迎えることができ、第16回京都学生祭典が幕を閉じます。お力添えいただきました皆様に厚く御礼申し上げますとともに、温かく見守っていただき15万人もの来場客の方々や京都学生祭典を繋ぐことができましたこと感謝申し上げます。そして何より実行委員みんながここまで同じ目標に向かって励んできたお陰です。これからも学生の思いがたくさん詰まった京都学生祭典が未来へ繋がっていくことを願っています。



## 副実行委員長 山根 青葉

立命館大学 3回生

第16回京都学生祭典では、「きょうを繋ぐ」をテーマに、10月7日の本祭に向けて、京都により根付き、より愛され、より大きな祭りになることを目指して活動してまいりました。本祭には15万人を超えるお客様にご来場頂き、多くの皆様に愛されていることを感じる事が出来ました。また、学生のパワーを京都中に発信できたのではないかと感じております。最後にはなりましたが、京都学生祭典に関わって頂いたすべての皆様に深く御礼申し上げます。



## 企画運営部長 多田 勇真

京都産業大学 3回生

第16回という節目の次の年であった今年の企画運営部では、15回までの京都学生祭典とは一味違った本祭の形・魅力をご来場してくださった全ての方々を感じていただけるよう企画立案から当日運営と本祭開催まで尽力してまいりました。10月7日の開催当日まで長いようであつという間の道のりでしたが、迎えました当日は、天候にも恵まれ、学生たちの熱気と来場者の笑顔こつまつれた、盛大な祭りを開催することができました。全く新しい本祭の形を目指して様々な挑戦も挫折もたくさん経験しましたが、開催に向けて実行委員一同全力で取り組み、今まで大きな壁であった15万人を超える皆様ご学生の本気をお届けできたことを大変嬉しく思っております。これも、携わってくださった皆様のお力あつてのものだと存じます。この場をお借りし、全ての方々に心からお礼申し上げます。



## 営業部長 佐野 彩華

京都女子大学 3回生

営業部は、企業様やご支援くださっている方々と、京都学生祭典を繋ぐ架け橋として1年間活動してまいりました。皆様からの温かいお言葉に何度も力をもらい、励まされ、ここまでやってこれたと心から感じています。本祭当日、たくさんのお客様の笑顔を見て、皆様の支えや、仲間の苦勞、喜び、努力すべてが、この素敵な「きょう」に繋がったのだと改めて実感することができました。最後に、京都学生祭典を応援し、ともに創り上げてくださった皆様に心より感謝申し上げます。



## 広報部長 横山 彰子

同志社女子大学 3回生

広報部は、今年度目標である来場者数15万人と学生層への浸透を目指し、1年間活動してきました。京都学生祭典を支えてくださる方々に、ご支援、ご協力を賜ったことで、例年の広報活動に加え、新たな広報活動も取り入れ実行することができました。第16回京都学生祭典では、来場者数15万人を達成することができましたが、ひとえに多くの方々に支えられ、またお客様が来場して下さることにより成り立っているものだと実感いたしました。京都学生祭典を支えて下さった皆様、また来場者の皆様に厚く御礼申し上げます。



## おどり普及部長 鷹見 亘輝

同志社大学 3回生

京炎 そでふれ！は2005年に京都学生祭典で生まれてから今まで「京都を盛り上げ、新しい学生文化を全国・世界に発信すること」を理念に活動してきました。今年は香港に披露をさせていただく事もでき、ついに世界にそでふれを、発信することができました。他にもおどり手が出前教室や披露などの活動をする事ができたのも皆様のお力添えあつての事だと思います。京炎 そでふれ！だけでなく、京都学生祭典に関わってくださった全ての方々に、心より感謝申し上げます。



## 警備部長 横山 広貴

京都産業大学 3回生

警備部は、1ヵ月前フェスティバルや本祭に向けて来場者、出演者、関係者すべての方々に安心して楽しんでいただけるように日々活動してまいりました。今年度は新たな形のパレードステージを設けたこともあり、警備部にとっても挑戦の年でした。苦難もたくさんありましたが、来場者数が目標の15万人に達し、事故なく大盛況のうちに終えることができました。最後に京都学生祭典を応援して下さった皆様に心より感謝致します。



## 年間交流部長 福崎 瑛里子

京都女子大学 3回生

年間交流部は、1年間様々な企画を通して、京都中の地域の方々や留学生と交流する機会をいただきました。日々の活動の中で、私たちは多くの貴重な経験をさせていただき、さらには京都の皆様のお温かさも実感いたしました。至らぬ点多々ございましたが、京都学生祭典を暖かく見守り、応援して下さった皆様には心より感謝しております。最後に、京都学生祭典に関わって下さったすべての方々に厚く御礼申し上げます。



## 総務部長 川瀬 美笙

京都女子大学 3回生

総務部は、京都学生祭典の裏方として、1年間内部から実行委員の活動を最も近くで支えてまいりました。支えることの難しさを強く実感することもありましたが、同時に、京都学生祭典に関わっていただいた地域の皆様、大学関係の皆様、委員会を通して多くのアドバイスをくださった委員会構成員の皆様のお心強さも実感することができました。京都学生祭典を支え、励まして下さったすべての方に、心より御礼申し上げます。



# 地域交流活動

## 打ち水

学生から発信する地球温暖化対策として打ち水企画を実施しました。当日は大学生や留学生、地域の方々にも参加していただき、<sup>\*</sup>KYO-SENSE活動の一環として手軽にできるエコ活動を発信しました。

※KYO-SENSE活動について…p10に記載

〈実施場所〉 平安神宮前・伏見稲荷大社

〈協力〉 京都府立大学大学院 松原斎樹教授ゼミの皆様  
美山木匠塾の皆様

## 夜警

お世話になっている地域の方々と交流を深めながら、地域の安全を守るために夜間のパトロールを行いました。

〈実施場所〉 岡崎地域・梅瀬地域

## クリーンアップ

いつもお世話になっている地域に感謝の気持ちを込めて、実行委員が地域の方々と一緒に清掃活動を行いました。

〈実施場所〉 岡崎地域・鴨川河川敷



# 年間イベント

(他団体主催イベントも含む)

1/6 安寧地域もちつき大会  
(元安寧小学校)



2/4 三条高倉もちつき大会  
(三条通)



4/22 岡崎地域清掃



4/29 稲荷祭  
(安寧・梅瀬地域)



7/27 大手筋夏の夜市  
(伏見大手筋商店街)



7/29 安寧夏祭り  
(元安寧小学校)



8/4 岡崎納涼祭  
(錦林小学校)



8/4 エコサマーフェスタ  
(元梅瀬小学校)



8/4~10 京の七夕  
(みこし展示やブースの運営)



8/8 打ち水企画  
(伏見稲荷大社)



8/11 鴨川河川敷清掃活動



8/22 打ち水企画  
(平安神宮前)



8/26 生祥夏祭り  
(元生祥小学校)



9/1 第16回京都学生祭典  
1ヵ月前フェスティバル



9/5 お掃除大作戦  
(岡崎地域)



9/8 柴竹夏祭り  
(柴竹小学校)



9/15 国際交流企画  
(イオンモールKYOTO)



9/16 岡崎レッドカーペット  
(京炎みこし、京炎そでふれ!が出演)







## 京炎 そでふれ！

## 京炎 そでふれ！とは

第3回京都学生祭典から生まれたオリジナル創作おどりで。京都らしい曲・振り・衣装をもとに四竹(よつたけ)という竹の鳴り物を使用しています。発足当時から「京都を盛り上げ、新しい学生文化を全国世界へ発信する」というコンセプトのもと日々活動しています。2018年は、香港での招待披露やめざましテレビ(フジテレビ)からの中継披露などコンセプト通り全国、そして世界へ、そでふれを発信していきました。

## おどり教室・出前教室

今年も京炎 そでふれ！を様々な場所で披露させていただきました。学生のエネルギー溢れるおどりをお客様に届けることができ、たくさんの方に笑顔になっていただくことができました。

また、様々な学校へ訪問し、出前教室を行い、大勢の方に京炎 そでふれ！を躍る楽しさを伝えました。熱心に練習する子どもたちとの触れ合いはおどりを教える学生も刺激を受ける貴重な体験となりました。

### ◆主なおどり披露先(2018年)

香港(旧正月インターナショナル・ナイト・パレード in 香港)、京都府・京都市の各イベント(岡崎ハレ舞台のディズニー披露・オリンピックフラッグツアーの披露)、清水寺、伏見稲荷大社、めざましテレビ中継披露、ホテルグランヴィア京都、ヨハネ寮夏祭り

### ◆主な出前教室先(2018年)

京都市内外の小学校・中学校・高等学校・保育園・幼稚園

### ◆第16回開催実績

〈出前教室〉 75回  
〈おどり披露〉 159回



## Kyoen Sodefure





# 年間活動

## 1. 香港パレード

2018年2月16日(金)、17日(土)に香港の尖沙咀(チムサーチョイ)で開催された香港国際・ナイト・パレードに京炎 そでふれ！普及チームが参加しました。日本代表として香港政府観光局に招待をいただき、当日は、京炎 そでふれ！スペシャルバージョンやホストチームの演舞を、香港披露用に特別にアレンジを加え、更に和傘や扇子を用いてパレードにて披露しました。学生の勢いや元気、そして京都文化を表現したパフォーマンスを行い、選抜メンバー40名が参加しました。



## 2. 国際企画

今年は「つなげよう！世界と京都と学生と」をコンセプトに、1年間様々な国際交流活動を実施してまいりました。今年度は、月に1~2回程度、留学生との会議を行い、様々な国籍の留学生との交流を楽しみながら意見交換をしました。また、留学生からでた意見を企画に取り入れることもできました。さらに、イオンモールKYOTOにて世界各国の工作や遊びを体験できる企画を実施し、参加してくれた子どもたちに異文化を体験していただきました。



## 3. パートナー交流会



6月29日(金)に、京都市勧業館みやこめっせにて、パートナー交流会を実施しました。第16回京都学生祭典をご支援いただいている企業の皆様をお招きし、グループトークを通して企業の皆様と学生が直接情報交換・意見交換ができる場としました。企業の皆様には、普段直接話す機会が少ない学生との交流ができる場として、今後さらに京都学生祭典との繋がりを深めるキッカケにさせていただきました。学生には人生の先輩として社会で活躍する方の貴重なお話を聞ける場をお話の場とすることを目的として開催しました。

## 4. KYO-SENSE プロジェクト

京都学生祭典においてエコ活動を行うプロジェクトのことです。祭の規模が大きくなるにつれ、年々ゴミの量が増え続けていたことから、「環境にかかる負担を減らしたい」「学生が身近な環境問題に取り組むことで、学生から京都へ、さらには日本全国へ新しいライフスタイルを提案したい」という思いのもと、2007年に緑日企画でリユース食器を導入し、翌年に「KYO-SENSE プロジェクト」を発足させました。さらに、京都府知事、京都市長、大学コンソーシアム京都理事長らを賛同人として「KYO-SENSE 共同宣言」を発表し、学生が地域・企業と協力することで活動の基盤を作りました。以降、ゴミの排出削減や打ち水イベントなど、様々な環境問題に積極的に取り組んでいきます。



KYO-SENSE サポーター



※本取り組みは、環境問題に取り組まれているGSユアサ様にご支援をいただいています。

## 5. 京のいいとこどり



1年間を通して、京都市内の商店街と連携し、「京のいいとこどり」企画を行いました。本祭企画では、4つの商店街と連携して、コラボ企画や商店街の魅力をSNSで発信しました。古川町商店街のJERENY&JEMIMAH様とラムネ味の綿菓子を、大映通り商店街のキネマ・キッチン様と赤しそシロップのラベルデザインを学生が考案し、販売しました。何度も話し合いを重ね、学生の目線で、学生が魅力を感じるような商品を開発することができました。また、新大宮商店街と大手筋商店街では、多くの店舗にご協力いただき、お店の紹介をSNSで行いました。京都の学生に商店街の魅力を伝え、地域と学生層を繋ぐ企画となりました。



# 1か月前フェスティバル

9月1日(土)に、京都国際マンガミュージアム(芝生エリア)と寺町京極商店街の二会場にて、1か月前フェスティバルを開催しました。本イベントは、京都学生祭典本祭の告知を目的としたイベントとなっており、本祭同様のステージ、ブース企画、また1か月前フェスティバルならではの試みとして、フラッシュモブパレード企画を行い、多くのメディアに京都学生祭典を取り上げて頂きました。また、二会場の特色を活かした企画を行うことができ、京都国際マンガミュージアムは地域の方々、学生、観光客など様々な来場者で賑わい、寺町京極商店街は多くの通行客の皆様目を引きつけ、盛り上がりの中で幕を閉じることができました。本イベントは、実行委員にとって価値のある経験と学びのある貴重な機会となり、1か月前の本祭の成功に繋げることができたと思います。

## 【1か月前フェスティバル出演団体】


Qyoto  
同志社大學應援團吹奏楽部  
京都女子大学GALAXIE  
京都造形芸術大学 ジャグリングサークル Relish  
やっばりまかろん。

## 【特別協力】

京都国際マンガミュージアム  
寺町京極商店街振興組合







第16回  
**京都学生祭典  
本祭**

2018年10月7日(日) 平安神宮前・岡崎プロムナード一帯

総来場者数 **154,000人**

※企画参加延べ数(実行委員会調べ)



会場装飾として、岡崎公園内にビニール傘での装飾を、休憩所テントに風船での装飾を施し、見て楽しんでいただけるように、カラフルに装飾しました。



1. パクッと京を味わおうグランプリ

グランプリ結果

- 👑【豆腐部門1位】 team 華頂
- 👑【パン部門1位】 Kyo Tomorrow Academy
- 👑【京野菜部門1位】 龍尾祭実行委員会



食ブースでは、「パクッと京を味わおうグランプリ」と称して、食べ歩きできるおいしい料理を提供してもらいました。今年のグランプリは、豆腐、パン、京野菜の3つの部門に分けて行われ、学生の個性あふれるグランプリとなりました。

2. 屋台ブース



屋台ブースでは、食ブースの料理を買っていただいた方が参加できる千本釣りブース、来場者の方が自分の好みに合わせて作ることができる手作りのハンドクリーム体験ブースを行いました。

3. おもてなし企画×京都学生コレクション



Grand Finale内で行われた、京都学生コレクションのファッションショーとのコラボ企画を行いました。ファッションショーにて使用されるレッドカーペット横に和紙で作成したオブジェをライトアップして設置しました。



Openingは神宮道一帯にて京都学生祭典本祭の幕開けを飾る企画です。「開演！京炎 そでふれ！」、「おまねきパレード」、「パルーンリリース」、「式典」の4部構成で行われ、「開演！京炎 そでふれ！」では京都中の1000人を超えるおどり手が神宮道を埋め尽くし、京炎 そでふれ！スペシャルバージョンを披露。圧巻の演舞で来場者を魅了しました。「おまねきパレード」では、京都橋高等学校吹奏楽部によるファンファーレを幕切りに、学生たちによるエネルギー溢れるパフォーマンスが行われました。常日頃からご支援いただいている来賓の皆様を先頭に、京都女子大学バントフリング部、京炎 みこしと京都造形芸術大学「和太鼓 恵(しん)」による活気あるパフォーマンスにより、来場者をはじめ関わって下さった全ての方を京都学生祭典に招き入れる「おまねきパレード」という名前にもふさわしい活気あるパレードとなりました。

また、新たな企画「パルーンリリース」では、来賓の皆様、来場者、出演者の皆様にご参加いただき、400個のカラフルなパルーンを一斉に飛ばし、平安神宮一帯の空を鮮やかに彩りました。

「式典」は、来賓の皆様からのご挨拶の後、第16回京都学生祭典実行委員長 稲垣知沙の開幕宣言により、京都学生祭典本祭が開幕しました。



# 京都子ども企画

京都子ども企画

京都学生朗読コンクール

Kyoto Student Music Award

京炎みこし

企業連携企画  
芸大生の連携

Grand Finale



各ブースのジャンルに関わる学生や子ども向けサークルに所属している学生のご協力の元、広大な岡崎公園野球場にて、子どもたちがたくさん体を動かすことが可能な参加型企画を行いました。子どもから大人まで全ての来場者の皆様に他の楽しんでいただくと共に京都の学生の持つパワーを感じていただきました。



## 子どもオリンピック

- ・京都の町をモチーフにした障害物を用いた障害物リレー
- ・手繋ぎ鬼ごっこ
- ・だるまさんが転んだ
- ・ストラックアウト



## 京都の町を探検しよう ぐるぐる迷路

- ・動物をモチーフにしたエアージェット迷路



## 目指せ！昔遊び名人ブース

- ・けん玉、お手玉、福笑い、コマ回しの体験
- ・竹とんぼ作り体験



## スポーツ王は君だ！ボール遊びブース

- ・ウィッフルボール
- ・サッカー
- ・ドッチビー



## 夢を描こう！お絵描き屋さんブース

・点灯物の絵付け (Grand Finale で行われた点灯式にて使用)

## 展示

- ・「もし一つだけ願いがかなうなら何をしたい？」をテーマにした、京都市内の保育園・幼稚園児の絵の展示
- ・錦林小学校交流企画で制作した「京マップをつくろう」の展示
- ・岡崎中学校交流企画で制作した「京都についてもっと知り、100年後の京都に期待することを考えよう！」の展示
- ・Grand Finaleで行われた点灯式での点灯物の展示



## ご当地キャラクター企画

- ・ご当地キャラクターコレクション
- ・ステージ企画
- ・ご当地キャラクターと玉入れ大会



## そでふれ The World

京炎 そでふれ！のおどりがお客様に近い存在となるために、さまざまな体験をしていただく企画を実施いたしました。四竹(よつたけ)という鳴り物の4分の1のサイズの竹にデコレーションをしてキーホルダーにしたり、おどりが演舞の際に着ている衣装を着ていただいたりしたほか、おどり教室も開いて多くのお客様に京炎 そでふれ！を踊っていただきました。また、京炎 そでふれ！の各ホストチームの特色を示した缶バッジを用いて、お客様を対象に缶バッジコレクションを開催しました。

## 第16回京都学生祭典缶バッジコレクション結果

- 👑 1位：京炎 そでふれ！志舞踊
- 2位：京炎 そでふれ！京踊華
- 3位：京炎 そでふれ！咲産華



Opening

おもてなし企画

京都子ども企画

京炎そでふれ！  
全国おどりコンテスト

京都学生朗読コンクール

Kyoto Student Music Award

京炎みこし

企業連携企画  
芸大生の連携

Grand Finale



京炎 そでふれ！部門

# 咲産華

京都学生コレクション  
京炎そでふれ！  
全国おどりコンテスト

京都学生コレクション

Kyoto Student Music Award

京炎みこし

企業連帯企画  
学生AS連携

Grand Finale



【受賞者コメント】  
この度は京炎 そでふれ！部門におきまして、我々が目標としていた咲産華史上初でもある優勝を収めることができ、咲産華一同大変嬉しく思っております！  
ここまで私たちを支えてくださった全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。咲産華はこれからもさらに高みを目指し頑張っていきます。  
応援のほどよろしく申し上げます！

## 京炎 そでふれ！ 全国おどりコンテスト

おどりというコンテンツを通して、出演者と来場者が一つとなり、そこにいるすべての人を楽しみと感じていただけるステージを目指しました。当日は創作おどり京炎 そでふれ！のホストチーム・準ホストチームを対象とした「京炎 そでふれ！部門」と京炎そでふれ！以外の様々なジャンルのおどりが対象である「マルチ部門」の2つの部門に分けてコンテストを実施しました。また、すべてのジャンルを対象とし、審査を行わない「披露部門」も行いました。今年は新たに大鳥居下から始まる70mにもわたる大きなパレードステージを設けることによって、大鳥居をバックに迫力あるおどりを披露していただきました。パレードステージでは他のステージとは一味違う、より出演者に近い位置でより多くの角度からおどりを鑑賞することが可能となり、新たな形でおどりを楽しんでいただくことができました。さらに各ステージにて総おどり企画として京炎 そでふれ！簡単バージョンのレクチャーも行いました。レクチャーを通して来場者の方々にも参加していただき、小さい子供から大人まで、踊ったことがある人もない人も一緒におどりで繋がることができました。学生の熱い想いが溢れるコンテストならではの涙や笑顔、沢山の表情を見ることができるステージは多くの来場者を魅了したのではないのでしょうか。また、出演者にとっても第16回京都学生祭典でしか味わえない最高に輝ける舞台となったのではないかと思います。



## コンテスト結果

京炎 そでふれ！部門

- 👑【優勝】 京炎 そでふれ！咲産華
- 【準優勝】 京炎 そでふれ！おどりつつ
- 【第3位】 京炎 そでふれ！彩京前線

マルチ部門

- 👑【優勝】 京都女子大学創作舞踊部
- 【準優勝】 京都文教大学よさこい風竜舞伝
- 【第3位】 ピンクチャイルド
- 【新人賞】 同志社大学よさこいサークル よさ朗
- 【オンリーワン賞】 LA★くLACK
- 【Creative賞】 soul kitchen☆Aチーム



## マルチ部門 京都女子大学創作舞踊部

【受賞者コメント】  
昨年は準優勝という悔しい思いをしました。今年は優勝し、リベンジを果たすことが出来たを大変嬉しく思います。「人の心を動かす学生の力」を実際に肌で感じ、観る人に感動を与え、そして自らも感動できる学生祭典に、来年も必ず出場させていただきたいです。



# Kyoto Student Music Award



## 受賞コメント



**辻本真**  
バンド部門

皆様の投票、応援のおかげで優勝することができました！  
ありがとうございます！  
最初はバンドメンバーで平安神宮の立てたらいいなあと話していたので、まさか本当にあのステージに立たせていただけるとは思いませんでした！  
この貴重な経験を糧にして、より良い作品を多くの人に伝え続けます。



**wan**  
フリー部門

京都学生祭典！僕の歌聴いてくださった皆様、本当にありがとうございました！  
一昨年は2位、去年も2位、今年こそと思って挑んだ最後のK SMA (Kyoto Student Music Award)で優勝できて本当に嬉しく思います。  
これからは、さらに皆さんの心に届く、笑顔を作れるようなwanにしかできない音楽をお届けします！まずは来年の3月、自身初のワンマンライブに向けて全力で突っ走っていきます！どうかこれからも応援おろしく願います。

## コンテスト結果

**バンド部門**

【優勝】  
辻本 真  
【準優勝】  
CONNECTION  
【第3位】  
THE BLACK PARADE  
【エモいで賞】  
エトワール

**ミックス部門**

【優勝】  
wan  
【準優勝】  
平野 しゅうた  
【第3位】  
RISAとリッキー  
【エモいで賞】  
今崎 ソラ

ロックバンドなどドラムを使用する団体を対象とした『バンド部門』、アカベラや弾き語りを対象とした『フリー部門』、審査のない『披露部門』の3つの部門を設け、学生による個性溢れる様々な形の音楽に、興味を持っていただくことを目的としました。  
今年は、観客の方ももちろん出演者の方にも楽しんでいただけるよう企画しました。8月に開催しました二次審査はライブハウスにて行い、本格的かつ臨場感あふれる空間で演奏していただきました。  
本選の決勝審査では観客投票を行うことで、一般の方のご意見を審査に反映し、より審査に多様性を持たせました。  
「きょうを繋ぐ」のコンセプトのもと、京都の地で創り上げるステージから生まれた学生の音楽を、ご来場の皆様にお届けすることができました。

## コンテスト結果

【総合賞】  
ホワイトライン  
【特別賞】  
Bloom  
【ヘアメイク賞】  
WAVE  
【モデル賞】  
Alie



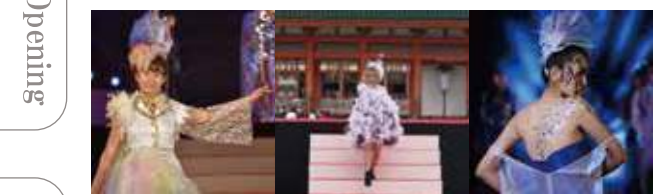
## 受賞コメント

### ホワイトライン

グランプリを受賞できて大変光栄に思います。  
このコンテストで初めて出会ったチームですが、一人ひとりが本番に向けて一生懸命頑張りました。  
このメンバーで組めて幸せでした。チームのみんな、来場者関係者の皆様、本当にありがとうございました。



# 京都学生コレクション



「おしゃれ」をツールに学生であるからこそ創り出すことのできる芸術に視線を向け、来場者の皆様に感動を与えられる企画を目指しました。

今年のテーマは「今」と設定し、ファッションコンテストを行いました。学生の限られた「今」という瞬間を表現してもらいました。また、新たな試みとしてテーマカラーを設けました。テーマカラーは「白」。白には無限という意味があり、学生の無限の可能性を表現してもらいました。

本祭の日中企画ではモデル、服飾、メイク・ヘアメイクの3ジャンルによるオールコーディネートファッションコンテストと鈴蘭ステージで行われた学生パフォーマンス企画とのコラボ企画「繋ぐ～fashion×music～」を行いました。京都橋高校吹奏楽部の生演奏をmusicにし、ファッションショーを行いました。

Grand Finaleでは日中とは違った照明を活かしたファッションショーを行うことが出来ました。また、おもてなし企画とのコラボ企画でレッドカーペット沿いにオブジェを並べ、ステージからレッドカーペット全てに照明があり常にモデル、デザイナーの作品がより綺麗になる企画にしました。モデル、服飾、メイク・ヘアメイクという普段違った場で活躍する学生たちが一つの作品を作ることで新たな学生の力・魅力を発信し、来場者の皆さんに感動を与えることのできるファッションショーを開催することができました。





○カゴメ株式会社との連携プロジェクト

京都を味わう欲張り京野菜カレー

“学生のまち 京都”で野菜の摂取量の少ない学生に京野菜の魅力伝えるべく、京都府、カゴメ株式会社と連携し、京野菜カレーの考案・開発・販売を行いました。カレーは、カゴメ株式会社の販売商品である「カゴメ基本のトマトジュース」をベースに万願寺とうがらしを入れ、焼いた鹿ヶ谷かぼちゃ、万願寺とうがらしをトッピングしました。実行委員会内で3度の試食会を経て完成したこのメニューを本祭当日販売し、300食を完売することができました。今後は、京都の大学内にある店舗にて京野菜カレー販売・メニュー配布し京野菜の魅力を発信していきます。



芸大生との連携

16回ではより幅広い学生に京都学生祭典を知ってもらうことを目的に、スキルの高い芸大生と連携し、今回は京都造形芸術大学の学生6名の方にご協力をいただきました。本祭の各ステージ牡丹・桜文・花菱・七宝・撫子のバックパネル、Openingと鳳凰ステージで使用した横断幕のデザインの制作をお願いしました。どのステージの作品にも一人一人個性あふれるタッチの着物柄を作成していただき、出演者の方々のステージパフォーマンスを引き立てるものとなりました。

～ご協力いただいた京都造形芸術大学3回生の皆様～

- 塩谷 友梨(七宝ステージ) 曾珍 (桜文ステージ)
- 田原 愛梨佳(花菱ステージ) 那須 怜奈(鳳凰ステージ)
- 藤谷 綾音(牡丹ステージ) 三谷 あかり(撫子ステージ)



京炎みこし



京炎みこしは第5回京都学生祭典の時に出来たオリジナル創作みこしです。京炎みこしは京都学生祭典の象徴であり、“京都学生祭典に関わる全ての人々の想い”をのせています。担ぎ手の衣装をはじめ、みこしの屋根の部分や周りの装飾の全てに京都らしさが織り込まれています。本祭において、京炎みこしは大きく3つの活動を行いました。まず、「おまねきパレード」。京都造形芸術大学の和太鼓サークル「恵(しん)」と岡崎神社からお借りした子ども神輿を担ぐ錦林小学校の子ども達とのコラボ企画を行いました。総勢80名ほどの演者たちが京都のみこし文化ならではの「まいっとほいと」という掛け声や、和太鼓の迫力ある演奏とともに進行し、会場に一体感を創りだし、場を盛り上げました。日中の京炎みこしブースでは、神宮道の大鳥居下へ京炎みこしとともみこしを展示しました。京炎みこしを背景に実際に担ぎ手が羽織っている法被を着ていただき記念撮影をしていただき、写真撮影やお越しいただいた方にみこしの装飾である提灯にアレンジをしていただき、自分だけのオリジナルの提灯をプレゼントする企画を行いました。また、神宮道鈴蘭ステージでは2度の披露を行い、和太鼓の心震わせる音と鳴鑼(なりかん)と呼ばれるみこしのり物が奏でる鐘音(しょうおん)とともに、学生の活気をお客様に感じていただくことが出来ました。日中のブース終了後は、都市公園に京炎みこしを移動させ、展示しました。そして、18:00から京炎みこしをライトアップし、日中に展示していた時とはまた違った雰囲気の中を来場者の方に見ていただきました。京炎みこしは、日常では見ることが出来ず、非日常空間に存在している時にこそ来場者の注目を集め、その場にいる人全員を1人にするのできるコンテンツであると実感しました。



# Grand Finale

メインステージである平安神宮前鳳凰ステージにて行われたGrand Finaleは、京都学生祭典本祭の最後を飾る企画です。書道パフォーマンス企画から始まり、日中行われた各コンテストとコラボレーション企画や、各団体の優勝発表、表彰、披露を行うとともに、京炎 そでふれ！スペシャルバージョンの披露、イルミネーション企画を行いました。

Grand Finaleの幕開けを飾った立命館宇治高等学校書道部の京都の魅力を書道で表現したエネルギー溢れるパフォーマンスは、会場の空気を一気に盛り上げました。各コンテストとのコラボレーション企画では、日中に行われた**Kyoto Student Music Award**、京炎 そでふれ！全国おどりコンテスト、京都学生コレクションの入賞者の発表や表彰、優勝者によるパフォーマンスを行いました。おどりや音楽、ファッション等、優勝者によるパフォーマンスは来場者に感動を与えるステージとなりました。また、新たな企画として試みたイルミネーション企画では、京都の学生による弦楽四重奏の演奏とともに点灯するイルミネーションが神宮道を埋め、華やかな光の道を作りだし、京都造形芸術大学の学生によって制作されたプロジェクションマッピングは平安神宮前鳳凰ステージを彩りました。終盤の京炎 そでふれ！スペシャルバージョンは、オーディションで選ばれた50名のおどり手による迫力のある演舞で会場を盛り上げ、総おどりでは来場者も参加し、来場者と出演者がひとつになった圧巻のステージとなりました。今年のGrand Finaleでは、各企画とのコラボレーションと新たな試みにより、京都中の学生たちを巻き込んだステージとなり、多くの来場者を魅了することができる空間をつくりあげることができました。





# 実行委員インタビュー

京都学生祭典本祭を彩る企画を立案・企画・運営を担う**企画運営部**、

地域の方々や留学生との交流を通じて祭典を広めてきた**年間交流部**、

京都学生祭典を支えてくださる企業へ運営費を募り、連携を取る**営業部**、

京災 そでふれ！を通して京都学生祭典を盛り上げる**おどり普及部**、

物品の管理や人事など実行委員や京都学生祭典を内側から支える**総務部**、

本祭やプレイベントで誘導・警備を行い、人々の安全を守る**警備部**、

京都学生祭典をより多くの方に広めるため、広報活動を行う**広報部**。

第16回京都学生祭典を支えた全7部署に所属する実行委員7人に

1年間の活動を振り返り、活動の中で起きた心の変化や第17回京都

学生祭典への抱負、期待することを語っていただきました。

質問 ①1年間であなたが頑張ったことは何ですか？

②京都学生祭典に入って良かったと思うことは何ですか？

③第17回京都学生祭典に向けて一言

## 詫間 捷史

企画運営部・立命館大学1年生



① 僕は企画運営部の京災みこし企画に所属していて、「京の七夕」というイベントのチーフをやらせてもらって、初日は、部員だけでブースの運営などの確認をしたのですが、次の日から他部署の方々を手伝いに来てくれるということだったので、一日という短い時間の中で、どのようにすれば楽しく運営してもらえるかを重点に置いて修正をしました。また、先輩に誘われて京都学生祭典に入ったので、同回生の友達を多く作ろうと思って、参加できる時は、出来る限り全体行事に参加するように心がけました。

② まず、他大学の方と関わることができるということです。僕は、自大学のサークルにも所属しているのですが、そのサークルでは出会えない仲間に出会うことが出来たので、入って良かったと思いました。また、僕は京都出身なのに、先輩に誘われるまで多くのお客様を動員し、あんなに大規模で行われる京都学生祭典のことを知らなかったのが、京都学生祭典に入ったことで、今まで知らなかった京都の魅力にも気付けたので、とても良かったと思います。

③ 自大学のサークルにも所属していますが、京都学生祭典が一番楽しいと思えたので、来年入ってきてくれる一回生にも同じように思ってもらいたいです。また、そう思えるような活動をしていきたいです。



## 岩井 茜

年間交流部・京都女子大学2年生



① 私が所属している年間交流部は、国際交流企画・地域交流企画・ご当地キャラクター企画の三部門で構成されているんですが、私たちは一年間を通して地域の方々や留学生と一緒に京都学生祭典を繋ぐことを目的として頑張ってきました。中でも、今年度は新しい試みとして留学生メンバーという役割を設け、各イベントの告知や出入り連絡を通して、今まで以上に留学生と密に連絡を取り合うようにしました。また、日本語が苦手な留学生の方々には、分かりやすく丁寧な日本語で話しかけたりメールしたりしました。その結果、友達のように話しかけてくれるようになり、各イベントの出席率が増えました。その結果、日本語の苦手な留学生でも、イベント中にご来場者様と留学生が国籍の壁を感じることなく、交流することができるようになり、私たちがその間に入って、一緒に交流を繋げていけるように努力しました。

② 私が京都学生祭典に入って良かったことは、京都学生祭典は企画や運営は学生が主体となって行っていますが、委員会の方や地域の方々など大人の方に支えられながら成り立っているのが、大人のひととの交流が、普通の学生より多くあったところです。だから、連絡の取り方一つでも、敬語の使い方であったり、訪問でお会いした時になるべく企画内容を分かりやすく簡潔に話したりして、いい意味で相手にも自分にも利益が必要な場面で、いかにお互いが承諾でき、企画を進めていけるのかというマネジメントの部分で、力を培うことができたところです。

③ 私たちは、264名という大所帯で活動しているので、の中で友達がまず沢山出来るのがとても良いことで、来年度も今年度以上に人数を増やしていきたいと思ったり、第17回に向けて今年度以上に良いものを作り上げていけるのではないかと考えています。今年度、私は副部長として活動してきたので、活動の中で培ってきた経験を生かして、来年もっと良い年間交流部を作っていけたらいいと思います。



## 加藤 はるか

営業部・同志社大学1年生



① まず、私は1回生で祭典の活動内容について何も分からなかったのが、今年は「祭典を知る」ということを頑張りました。自部署の面では先輩方の行動や態度を見て学んだり、活動の面では祭典のイベントに参加したりしてました。営業部の活動として、訪問に何度か行かせていただきましたが、自分自身まだ理解できていない事について企業の方に聞かれると答えることができませんでした。そういう場合は、その場ではお答えできないことを謝罪し、後日先輩に確認をとるなど訪問の仕方を見直し、二度と同じ事を起こさないように心がけました。自分が祭典の魅力を知るといことがこれから祭典を盛り上げていくうえで一番大事な事だと思いました。

② いろいろな人と話し合いができるということがとても良かったと思っています。祭典に入っている他大学の子はもちろん、地域の方々や営業部ということで企業の方と話す機会も多く、そのたびにたくさんの人から刺激をもらっていました。

③ 今年は分からないことが多く見よう見まねでやっていたところがありましたが、来年度はこの1年間で学んだことを活かして積極的にもっと参加していけたらと思います。



## 一柳 昌史

おどり普及部・同志社大学3年生



① 2回生までは京災 そでふれ！のおどり手として活動をし、3回生から実行委員として活動しました。始めは京都学生祭典の仕組みや組織体制が分からず、知り合いも少なく、出来るだけ様々なイベントに参加して、自分のことも覚えてもらい、交流できるように努力をしました。おどり普及部内では、京災 そでふれ！のおどり手同士が交流するイベントを企画する部署を担当しました。本来だったら関わることのなかった人たちがイベントを通して交流してもらえるようなイベント作りを目指しました。そのイベントでの交流がきっかけとなり、京災 そでふれ！の活性化や発展につながり、さらに京都学生祭典の盛り上がりにも繋がるのではないかと考えました。

② 京都学生祭典を通して、友人が増えました。2回生までは京災 そでふれ！のおどり手だった為、チームの友人としか交流がありませんでしたが、実行委員になったことで部署関係なく、多くの人と話す機会があり、今までとは違う交友関係を築けたことがよかったです。おどり普及部では、自分たちが企画したイベントに様々な人が参加をし、イベント後に楽しかったとうれしい反応を聞き、イベントを主催することが出来て良かったと思いました。また、そこで出会った人たちがイベント以外にも交流をしていることにも喜びを感じました。

③ 17回は20回を目指し、活動をしていかなければいけないと思います。今年は多くの来場者の方に来ていただきましたが、それだけ、来年へのプレッシャーもあるかもしれません。自分は今年で引退ですが、17回を運営をしていく、1回生や2回生なら出来るかと期待しています。



## 山下 知紗

総務部・平安女学院大学1年生



① 一番に挙げるとするならば、本祭でのゴミナビです。ゴミナビステーションに立って分別を誘導する仕事だけでなく、実際に岡崎公園を回りながら、分別できているかどうかやゴミが溜まっていないかを注意し、リユース食器の取り扱い方法を確認する仕事をして、来場者の方に気持ちよくイベントを楽しんでもらうようにしました。また、私が所属している全体事業部門で、最初は先輩方に教えて貰いながら、指示の通りに物事が進むように心がけました。京都学生祭典に入って最初のイベントであるプレイベントを経験してからは、自分で考えて行動しようと思い、より相手に分かりやすい表現を心掛け、祭典活動に勤めました。

② 1つのことに集中して活動するサークルが多い中、京都学生祭典は、周りの企業の方々から支えていただいています。その中でも、私の日常生活に役に立っているのが、総務部のゴミナビで関わっていただいた会社に対して、相見積りを行ったことです。普通のサークルでは経験できず、社会に出てやっていかなければならないことを、学生のうちから経験できたことは、とても勉強になっていると思っています。

③ 第16回京都学生祭典の本祭では、目標としていた来場者数15万人を達成することができました。これからは第17回京都学生祭典の新実行委員長のもとで頑張っていくのですが、第16回京都学生祭典の盛り上がりにも負けないようなものを作り上げていきたいと思っています。また、私たち実行委員の意気込みを形に出来るよう、しっかりとしていかなければいけないと思っていますので、まず自分から自部署の仕事をこなしていけるように頑張っていきたいです。



## 伊東 みらの

警備部・平安女学院大学1年生



① 1年間で頑張ったことは、会議に沢山参加したり、マニュアルを最初から作成したりしたこと。初めての本祭だったので、本祭当日のステージや交通規制の状況が全く分からず、会場の下見に行っても、なかなかイメージすることは難しかったのですが、先輩方のアドバイスを参考にしながら警備の仕事をごこなせるように努力しました。

② 京都学生祭典に入って良かったと思うことは、沢山のひとと交流が出来たことです。初めて会う人ばかりで、最初は緊張しっぱなしでしたが、本祭に向けて、同じ目標を持つ同志なので、親近感を持ちやすく、沢山のひとと仲良くなれました。

③ 第16回京都学生祭典の勢いに負けないように、第17回京都学生祭典では沢山魅力の詰まったものにしていきたい、警備部として、来場者の方々に笑顔でイベントを楽しんでもらえるように、これからも頑張っていきたいです。



## 田中 聡一郎

広報部・京都産業大学2年生



① 広報部の動員戦略部門としてこの1年間は、本祭の来場者数で学生層を増やすことを目標として活動してきました。どのような工夫をすれば学生を本祭に呼ぶことができるか考えて行動しながら、できる限りキャラバンやローラー活動に参加して、どういった場所に攻めていけば良いのか発見しながら活動していました。僕としては思い通りにいったりできなかったところがたくさんあり、来年に繋げていかなければいけないなと思いました。今年は、本祭に15万4000人の方々に来ていただき良かったと思います。

② 活動していく中でたくさんの実行委員の仲間からパワーをもらったり、たくさんの経験から刺激をもらったことです。昨年の15回までの京都学生祭典の積み重ねと多くの方々を支えられている中で、このような大きなお祭りを開催できることに僕自身は、自信を持つことができていると思います。

③ 来年は、一度本祭に来ていただいたお客様に来年も行きたいと思ってもらえるように、全体としても広報部としてもさらに活気ある祭典にしていきたいと思っています。今までの経験と知識を活かして、改善点を直しながら、祭典に関わっていけたら良いなと思います。第17回の本祭では、今年度の15万人を超えて本祭来場者数16万人を目指すつもりで頑張りたいと思います。





# メディア掲載一覧

## 【新聞】

| 日付        | 掲載紙    | 見出し等                           |
|-----------|--------|--------------------------------|
| 2月14日(水)  | 京都新聞朝刊 | 香港で「京炎 そでふれ！」京都の学生、国際イベント参加    |
| 2月16日(金)  | 朝日新聞朝刊 | 香港・旧正月のパレードに京都の学生ら参加へ          |
| 9月02日(日)  | 京都新聞朝刊 | フラッシュモブ 息ぴったり 中京 京都学生祭典プレイイベント |
| 9月06日(木)  | 京都新聞朝刊 | 京都学生祭典実行委員が平安神宮参拝「成果存分に披露」祈願   |
| 9月29日(土)  | 京都新聞朝刊 | 第16回京都学生祭典 特集記事                |
| 10月08日(月) | 京都新聞朝刊 | きょうを繋ぐ 学生躍動 左京で祭典 1000人、創作舞踊   |

## 【テレビ】

| 日付               | 放送局、番組名            |
|------------------|--------------------|
| 6月13日(水) 18:30~  | J:COM京都 デイリーニュース京都 |
| 8月01日(水) 18:30~  | J:COM京都 デイリーニュース京都 |
| 9月26日(水) 18:30~  | J:COM京都 デイリーニュース京都 |
| 10月10日(水) 18:30~ | J:COM京都 デイリーニュース京都 |
| 10月26日(金) 07:35~ | フジテレビ めざましテレビ      |

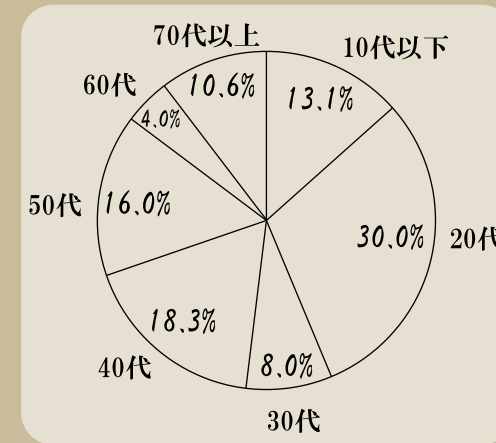
## 【2018年9月29日 京都新聞掲載】

計  
**350**  
名

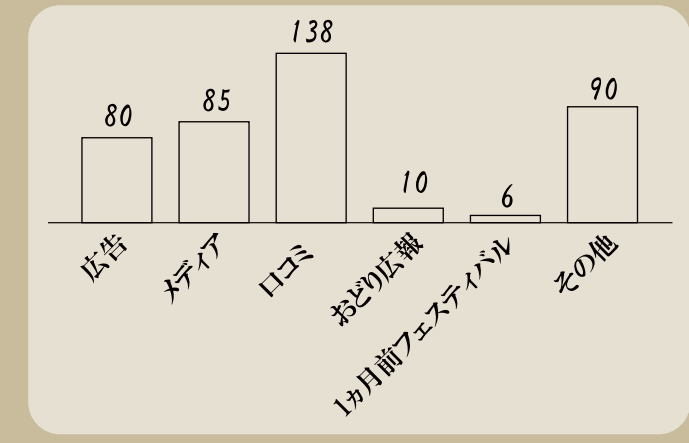
# 京都学生祭典本祭アンケート

〈配布調査(QRコード読み取り式含む)・聞き取り調査〉

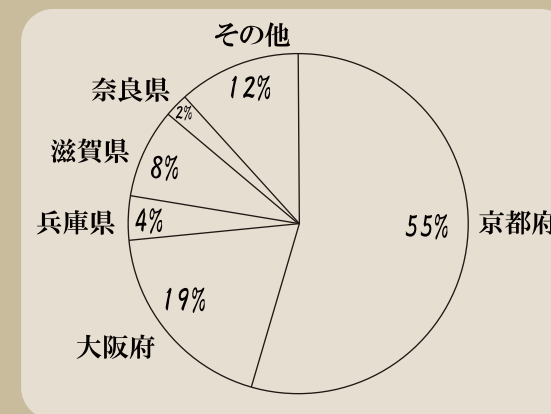
## ✓ 来場者の年齢層



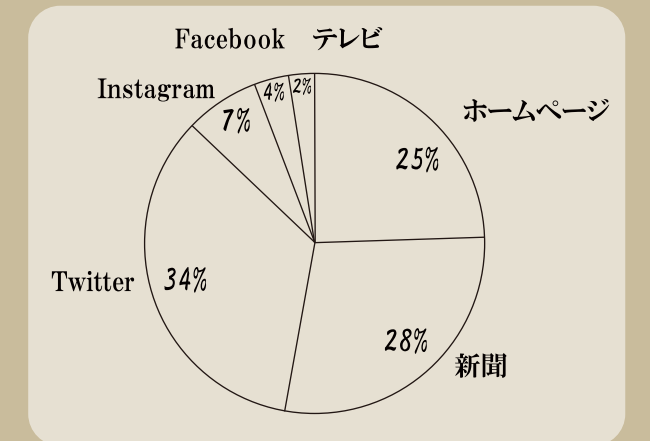
## ✓ 京都学生祭典を何で知ったか



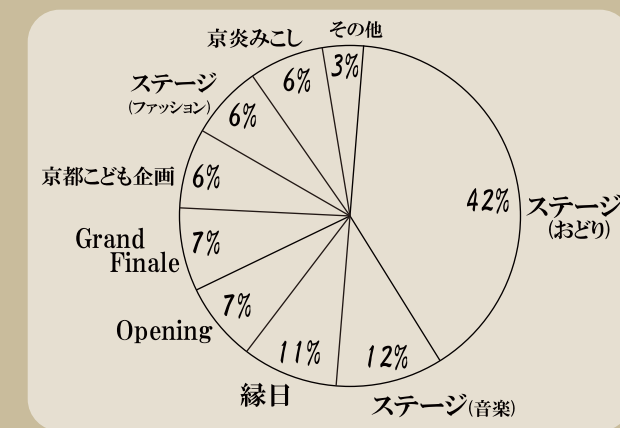
## ✓ 住まい



## ✓ 京都学生祭典を知った媒体



## ✓ 京都学生祭典本祭人気企画



~アンケートのご協力ありがとうございました。~



# 制作物一覧



# 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 加盟校一覧

|                  |               |              |               |
|------------------|---------------|--------------|---------------|
| <b>国立大学</b>      | 京都医療科学大学      | 京都西山短期大学     | 同志社女子大学       |
| 京都大学             | 京都外国語大学       | 京都造形芸術大学     | 花園大学          |
| 京都教育大学           | 京都外国語短期大学     | 京都橘大学        | 佛教大学          |
| 京都工芸繊維大学         | 京都学園大学        | 京都ノートルダム女子大学 | 平安女学院大学       |
| <b>公立大学</b>      | 京都華頂大学        | 京都美術工芸大学     | 平安女学院大学短期大学部  |
| 京都市立芸術大学         | 華頂短期大学        | 京都文教大学       | 明治国際医療大学      |
| 京都府立大学           | 京都看護大学        | 京都文教短期大学     | 立命館大学         |
| 京都府立医科大学         | 京都経済短期大学      | 京都薬科大学       | 龍谷大学          |
| 福知山公立大学          | 京都光華女子大学      | 嵯峨美術大学       | 龍谷大学短期大学部     |
| <b>私立大学・短期大学</b> | 京都光華女子大学短期大学部 | 嵯峨美術短期大学     | 大阪医科大学        |
| 池坊短期大学           | 京都産業大学        | 種智院大学        | 京都情報大学院大学     |
| 大谷大学             | 京都女子大学        | 成安造形大学       | 放送大学 京都学習センター |
| 大谷大学短期大学部        | 京都精華大学        | 同志社大学        |               |

# 協賛企業一覧

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| <b>スペシャルパートナー協賛</b><br>ローム株式会社          | 株式会社アイビーインターナショナル<br>有限会社アリエニライ<br>安藤不動産株式会社<br>いきいきうどん鳥丸御地店<br>株式会社伊藤久右衛門<br>詠而婦コンサルティング<br>株式会社 エルハウジング<br>株式会社おいかぜ<br>大谷園茶舗<br>オムロン株式会社<br>要建設株式会社<br>カネコン商事株式会社<br>株式会社カワキコーポレーション<br>京つもの 大安<br>株式会社 京都駅観光デパート<br>京都ステーションセンター株式会社<br>京都体育施設株式会社<br>京都電子工業株式会社<br>京都丸紅株式会社 和風館 ICHI<br>旭興産業株式会社<br>近建ビル管理株式会社<br>株式会社 公益社<br>株式会社阪口製作所<br>株式会社サカグチトレーディング<br>三和化工株式会社<br>シライ電子工業株式会社<br>株式会社進々堂<br>株式会社末松工務店<br>成基コミュニティグループ<br>株式会社 ゼネックコミュニケーション<br>株式会社セレマ | 株式会社高島屋京都店<br>医療法人知音会<br>株式会社デ・リード<br>株式会社ディレクターズ・ユニブ<br>株式会社テクノ菱和京都営業所<br>デルタ自動車四條教習所<br>株式会社Doコーポレーション<br>有限会社中村ローソク<br>株式会社西産装美<br>日本カラーフォトスタジオ株式会社<br>日本教育旅行株式会社<br>株式会社 novis<br>株式会社 ビーイング<br>BEACON KYOTO<br>株式会社 福寿園<br>平安建材株式会社<br>ベルサンテスタッフ株式会社<br>株式会社 堀場エステック<br>株式会社 丸久小山園<br>株式会社美也古商会<br>みやこ薬局株式会社<br>村山造酢株式会社<br>株式会社ヤマコー<br>ヤマト運輸株式会社<br>株式会社山中商会<br>株式会社リポート<br>株式会社ローバー都市建築事務所<br>株式会社ロマンライフ<br>株式会社ワタナベ美装<br>ワタベウエディング株式会社 | <b>物品協賛</b><br>株式会社 青木光悦堂<br>株式会社 伊藤常<br>今西製菓 株式会社<br>上七軒 あだち<br>京雑貨洛楽<br>京つもの西利<br>京都 おはりぼこ<br>京都ぎよくろのごえん茶<br>胡粉ネイル・上羽絵惣<br>有限会社米清<br>有限会社竹笹堂<br>西陣織会館<br>有限会社びよんびよん堂<br>株式会社 藤清<br>株式会社船はしや総本店<br>よーじや グループ |
| <b>KYO-SENSE サポーター協賛</b><br>株式会社 GS ユアサ | イオンモールKYOTO<br>株式会社キャリアパワー<br>株式会社 京進<br>月桂冠株式会社<br>株式会社 長栄<br>ニチコン株式会社<br>NISSHA 株式会社<br>株式会社 堀場製作所   | 京セラ株式会社<br>株式会社京都銀行<br>株式会社京都コレクション&エンターテイメント<br>京都信用金庫<br>京都中央信用金庫<br>株式会社 ジェイ・エス・ビー<br>株式会社 島津製作所<br>宝ホールディングス株式会社<br>タキイ種苗株式会社<br>株式会社たけびし<br>土山印刷株式会社<br>日東薬品工業株式会社<br>株式会社村田製作所<br>株式会社ワコール   |   |

# 個人サポーター

今年は、合計211組の方から627,000円のご支援を賜りました。それらは、京都学生祭典実行委員会の活動費等に大切にに使わせていただきました。誠にありがとうございました。

|                 |                 |                 |            |             |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------|-------------|
| 青谷 忠治           | 京都医療科学大学 山口 佳紀  | 小松 恵美           | 中村 進       | よっしー        |
| 青谷 行人           | 京都市総合企画局総合政策室一同 | 近藤 邦弘           | 中村 勝       | 龍 昭次        |
| 阿加井 生子          | 京都女子大学 居相 美穂    | 佐野 夏子           | 西川 明季      | 若野 美津雄      |
| 穴吹              | 京都女子大学 今里 晃玄    | 澤井 亮子           | 西川 融       | 若林 浩夫       |
| 粟津 泰彦           | 京都女子大学 岡部 和代    | 澤邊 吉信           | 西村 裕一      | 渡辺 哲雄       |
| 稲垣 敏光           | 京都女子大学 学生生活センター | 柴田 千鶴子          | 野村 竹正      | 渡邊 宏        |
| 岩本 治也           | 京都女子大学 学部事務課    | 芝原 喬子           | 羽谷 公正      | (敬称略)       |
| 宇敷 みゆき          | 京都女子大学 櫻村 健一    | 芝原 正記           | 羽谷 達成      | (ご芳名非掲載94組) |
| 宇津 克美           | 京都女子大学 川瀬 裕之    | 田井 清            | パロ兄        |             |
| 大河 信春           | 京都女子大学 倉本 祥子    | 体育振興教会 北 光男     | 廣瀬 優子      |             |
| 大西 なつき          | 京都女子大学 経営企画・広報室 | 第13回京都学生祭典執行部一同 | 福崎 充       |             |
| 大溝 努            | 京都女子大学 五島 一代    | 第15回営業部OBOG     | 福田 真樹子     |             |
| 大村 好央           | 京都女子大学 酒井 貴雄    | 第15回京都学生祭典執行部   | フレッシュ生祥委員会 |             |
| 岡 崇嗣            | 京都女子大学 坂口 満宏    | 高橋 健二           | 堀 裕        |             |
| 岡崎消防団副団長 森田 五九男 | 京都女子大学 芝原 玄記    | 多田 英司           | 堀 優美子      |             |
| 岡島 慶子           | 京都女子大学 鈴木 康治    | 辰巳 さとみ          | 本田 里江子     |             |
| 小川 公美子          | 京都女子大学 瀬尾 浩     | 田中 克哉           | 増田 隆生      |             |
| 奥村 秀夫           | 京都女子大学 西阪 宣枝    | 田中 けんじ          | 俣野 多恵子     |             |
| 小谷 昌和           | 京都女子大学 日野 芳文    | 田中 翔・あい         | 町田 幸三      |             |
| 桂 良彦            | 京都女子大学 森 俊道     | 田中 美代子          | 松田 研司      |             |
| 金井 義人           | 京の三条まちづくり協議会    | 谷口 暁子           | 松田 華       |             |
| 川上 育子           | 楠木 純子           | 谷口 雄二           | 松本 良一      |             |
| 川柳 康夫           | 倉橋 基            | 玉垣 俊彦           | 溝口 ヒサエ     |             |
| 川瀬 久雄           | 児島 真智子          | 田村 幸子           | 南 とし子      |             |
| 菊川 豊            | 児島 真弥           | 筑田 一毅           | 村瀬 久美子     |             |
| 北川 拓海           | 小嶋 万太郎          | 陳靖 濠            | 山崎 龍彦      |             |
| 北原 茂樹           | 小林 加奈           | 豊田 博一           | 山田 敦       |             |



# 実行委員名簿 (全 269 名)

|                  |   |   |   |  |   |  |   |  |  |
|------------------|---|---|---|--|---|--|---|--|--|
| 【実行委員長】<br>桶垣 知沙 | 【企画運営部】<br>多田 勇真 (部長)<br>出原 希望<br>宇敷 美祐<br>奥山 佳音<br>深町 奈月子<br>山根 青葉 | 〈学フオ企画〉<br>大木 美香<br>大嶋 二歌<br>大野水 瑛美香<br>小野 晴香<br>垣立 承美<br>国本 夕清<br>繁森 央一<br>田中 史<br>阿分 美羽<br>岩波 加歩<br>内田 知花<br>小晶 瑠衣<br>金森 紗羽<br>川端 悠輔<br>小林 礼夏<br>佐々木 悠花<br>澤井 めい美<br>高橋 良徳<br>立花 美優<br>二階堂 友紀<br>能勢 優佑<br>山田 理央<br>山田 伶奈<br>吉岡 瑞貴 | 〈京都子ども企画〉<br>神崎 二映<br>小林 愛美<br>佐々木 康助<br>田川 龍<br>土山 永遠<br>共田 桃菜<br>成田 脩真<br>藤井 茉莉子<br>古谷 成美<br>堀 菜琴<br>正寛 裕輔<br>山本 伎里 | 【営業部】<br>佐野 彩華 (部長)<br>荒木 仁奈<br>池尻 結衣<br>石垣 智貴<br>大河 綾香<br>森 るな<br>岡本 実夏<br>加藤 はるか<br>笹川 可音<br>佐々木 彩乃<br>清水 碧<br>竹内 詩乃<br>竹内 優太<br>遠松 伸斗<br>中村 美宇<br>長瀬 沙綺<br>西川 葵羽<br>濱田 龍河<br>平田 梨奈<br>藤原 丈瑠<br>宮本 拓弥<br>吉田 理菜 | 【広報部】<br>横山 彰子 (部長)<br>足立 里咲<br>飯田 健貴<br>石井 真裕子<br>岩佐 瑞穂<br>大嶺 通<br>小出 智明<br>近藤 なのは<br>佐藤 涼太<br>左野 伸弥<br>末永 万優子<br>高橋 美宇<br>愛莉<br>田中 聡一郎<br>津田 栗<br>外池 愛<br>長瀬 沙綺<br>西川 葵羽<br>濱田 龍河<br>中川 希<br>長坂 真宏<br>橋本 采悠加<br>橋本 怜奈<br>東田 菜穂<br>帆刈 祥子<br>前田 将宏<br>政重 ゆめか<br>松本 唯<br>松野 栗<br>丸石 紗矢香<br>三谷 涼華<br>通阪 菜々子<br>村田 樹彦<br>森下 純衣<br>森田 寛明<br>吉崎 梨賀<br>芳野 都馬<br>渡辺 珠生<br>渡部 友一朗<br>綿貫 愛 | 【おどり普及部】<br>鷹見 亘輝 (部長)<br>阿南 悠乃<br>井口 真緒<br>一柳 昌史<br>河村 明日香<br>北川 里菜<br>児玉 高弘<br>座光寺 南<br>仙波 真帆<br>竹内 詠菜<br>田中 琴音<br>谷本 百恵<br>中谷 海斗<br>野田 平帆<br>長谷川 慶<br>平田 晴彦<br>福田 真樹子<br>堀 優実子<br>松浦 愛<br>山田 朋奈<br>山田 萌奈<br>横田 桃子 | 【警備部】<br>横山 広貴 (部長)<br>浅田 真浩<br>石沢 純也<br>伊東 みらの<br>岩本 綾佳<br>遠藤 嘉子<br>上藤 大空<br>河上 千奈美<br>北村 奈子<br>木村 大志<br>黒岩 佑樹<br>清水 亜美花<br>清水 健悟<br>高岡 建成<br>高田 梨緒<br>瀧川 なつみ<br>竹原 菜月<br>田中 あみ<br>田中 晴菜<br>田鍋 亜香音<br>谷岡 美由紀<br>長津 美幸<br>西岡 愛実<br>西川 弥芳<br>西田 楓<br>濱田 佳奈<br>日隈 凛華<br>藤岡 奈々<br>増井 美玲<br>宮田 夏帆<br>山西 彩葉<br>吉川 雅樹<br>来田 凛香<br>来田 ひなた<br>来山 美花 | 【年間交流部】<br>福岡 瑛里子 (部長)<br>赤松 勇真<br>浅野 実緒<br>安部 伊織<br>荒川 健<br>伊藤 麻衣<br>岩井 茜<br>大西 百香<br>大橋 世奈<br>岡下 絢香<br>勝原 宝来<br>加藤 舞<br>金山 あゆみ<br>川村 詩織<br>國料 万季<br>小迫 愛<br>白石 亜穂<br>鶴田 祐希穂<br>二村 明日香<br>長谷川 風花<br>布川 奈於<br>福岡 惇矢<br>福岡 桃香<br>露 隆平<br>堀江 唯奈<br>松阪 歩都<br>森崎 朱里<br>安原 康平<br>山崎 愛観<br>山田 聡司<br>山本 詠明<br>吉田 雅子 | 【総務部】<br>川瀬 美笙 (部長)<br>浅見 莉穂<br>飯田 昇平<br>石角 優衣<br>伊藤 鈴華<br>岩崎 沙南<br>岩谷 有希子<br>大酒 瑠菜<br>小田 明日香<br>小田 翔太<br>金田 玲奈<br>鈴木 真理子<br>中尾 真弓<br>中村 翔太<br>中山 愛恵<br>永井 千尋<br>野木 ななみ<br>平田 瑞季<br>松尾 芽来<br>山下 知紗<br>吉富 恵 |
|------------------|---|---|---|--|---|--|---|--|--|



~多くのご支援、ご協力ありがとうございました。~

## 所属大学一覧全24大学

|             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 京都女子大学 94人  | 龍谷大学 9人     | 佛教大学 2人     |
| 立命館大学 27人   | 京都学園大学 6人   | 大手前大学 1人    |
| 平安女学院大学 22人 | 京都文教大学 6人   | 関西外国語大学 1人  |
| 京都産業大学 21人  | 大谷大学 3人     | 京都外国語大学 1人  |
| 同志社大学 19人   | 京都薬科大学 3人   | 京都工芸繊維大学 1人 |
| 同志社女子大学 18人 | 京都光華女子大学 3人 | 京都橘大学 1人    |
| 京都華頂大学 15人  | 京都医療科学大学 2人 | 京都美術工芸大学 1人 |
| 京都大学 10人    | 京都精華大学 2人   | 京都府立大学 1人   |





主催：京都学生祭典実行委員会

〒600-8216

京都市下京区西洞院通塩小路下ル キャンパスプラザ京都内

TEL : 075-353-9432 E-mail : festa@consortium.or.jp

URL : <http://kyoto-gakuseisaiten.com/>

共催：京都学生祭典組織委員会

(京都府 / 京都市 / 京都商工会議所 / 一般社団法人京都経済同友会 /  
公益財団法人 大学コンソーシアム京都)

特別協力：平安神宮

協力：京都府立医科大学附属病院 / 文化庁(地域文化創生本部)

後援：総務省/京都府教育委員会/京都市教育委員会/京都市保育園連盟/  
京都市私立幼稚園協会/公益社団法人 京都青年会議所/公益社団法人 京都市観光協会/  
公益財団法人 京都和装産業振興財団/京都商店連盟/京都新聞/朝日新聞京都総局/  
毎日新聞京都支局/読売新聞京都総局/産経新聞社京都総局/日本経済新聞社京都支社/  
中日新聞社/KBS京都/京阪電気鉄道株式会社/京福電気鉄道株式会社/  
(株)J:COM 京都みやびじょん局/NHK 京都放送局/朝日放送株式会社/読売テレビ放送株式会社/  
株式会社エフエム京都

スペシャルパートナー

KYO-SENSE サポーター

